

2024年(令和6年)

第65号

(1月15日)

平安だより

HEIAN letter

発行所：立正佼成会 京都教会

発行責任者：渉外部長 澤村悦玄

編集委員長：渉外広報 植田恭司

〒605-0041 京都市東山区三条東町 230

TEL (075)762-2211 FAX (075)762-2266

ご親教式典 ～一食地域貢献プロジェクト贈呈式も実施～

ご親教式典が1月7日、インターネット配信で行われ、多くの会員が参拝しました。配信後は、辞令授与、一食地域貢献プロジェクトの支援金贈呈式、東教会長のお言葉と続きました。

贈呈式では今回の贈呈先であるスィマルクの活動紹介も行われ、昨年にウクライナへ300台の車いすが送られたと報告がありました。

東教会長はお言葉の中で、元日の能登半島地震の被災者に対し黙とうが行われました。続けて、この30年の間に4つの大震災があったと述懐。平成7年に阪神・淡路大震災、平成16年に新潟県中越地震、平成23年に東日本大震災、平成28年に熊本地震。その度ごとに庭野会長が現地に行かれ、東教会長も同行したこともあったと振り返られました。なすすべもなく立ち止まって、苦しんでいる方へ私たちが出来ることとして、少しでも苦悩がなくなるようにとの「祈り」、小さくても集まれば大きくなる「小さな実践」、今感じていることを家族と共に頑張ろうと「思いを伝えるこ



と」、それが「即是道場」でもあると述べられました。

また、庭野会長の年頭誓願文にもふれ、「仏弟子日鏡は～と仰いましたが、これは庭野会長だけの誓願ではなく、私たちが仏弟子であり庭野会長と一緒に精進していきましょう」と促されました。

終い天神で恒例の街頭募金活動 ～右京明社・京洛明社合同～

京都の1年を締めくくる縁日「終い天神」でにぎわう12月25日、恒例の右京明社と京洛明社合同の年末助け合い街頭募金活動を北野天満宮大鳥居周辺三地点にて実施しました。



明社活動もコロナ禍で実施出来ませんでしたでしたが、5類への移行に伴いようやく活動を再開しました。

その手始めとして、令和元年以来4年振りに北野天満宮での京洛明社との合同での善意の募金活動でした。当日は風もなく、明るい日差しの中での募金活動は11時～12時の間は京洛明社(8名)、12時～13時の間は右京明社(11名)が担当しました。

皆さん久しぶりで「お願いします」と大きな声で募金活動をしました。善意の募金が困っておられる方に少しでも良いお正月を迎えてもらえる一助になることを祈念しております。当日の募金44,793円は、例年の通りその日のうちに京都共同募金会に持参・寄付しました。同募金会から、両地区明社宛に丁寧な礼状を頂きました。

京都教会ビデオレター配信開始 ～東教会長発～

月初めに東教会長からビデオレターが配信されることになりました。京都教会のホームページで公開されています。https://rkk-kyoto.jp/archive/ パスワードは各支部長にご確認下さい。



左記のQRコードをスマートフォンで読んで、ご覧頂くことも出来ます。地区単位、各家庭においても視聴し、1ヶ月の修行目標とさせて頂きましょう。

令和6年、私たちは「日々感謝 にこにこ元気に出会いたい ありのままの私から」を実践して参ります。

京都教会のホームページもご覧下さい。https://rkk-kyoto.jp/ (右のQRコードからご覧頂けます)



亀岡・宇治法座所開き ～会員が集い、心新たに～

新しい年が始まり 2ヶ所の法座所開きが行われました。1月8日に宇治法座所が、10日に亀岡法座所が開かれました。両法座所ともご供養後、東教会長のビデオレターを視聴しました。

法座では、それぞれ自分自身の近況報告が主でしたが、東教会長のビデオレターを通して、「よーし私も！」と、心新たにスタートを切ったようでした。



宇治法座所の様子



亀岡法座所の様子

能登半島地震への対応について

本部ホームページにおいて下記の発表がありました。

能登半島地震により被災された皆さまへ

1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、被害に遭われた皆さまに心からのお見舞い申し上げます。また、犠牲となられたすべての方々のご冥福をお祈り申し上げます。

新年を迎えて早々に被災され、そしていまま余震のなかで不安なときを過ごされている方も多くいらっしゃると思います。また、北陸をはじめとする被災地域ではこれから本格的な雪の季節を迎えます。一刻も早く地震が収束し、復旧が進むこと、そして皆さまが心安らかに過ごせる日々を迎えられますようにと、願わずにはられません。

信仰を持つ私たちは、困難な時であっても周囲を照らすともしびのような存在でありたいと願っております。それが周りの方々の支えとなり、同時に自分自身を支えてくれることを信じているからです。被災地にあっても会員の皆さまの心に、そんなみ教えのともしびが灯り続けますように。声を掛け合い、力を寄せ合い、思いを届け合い、そして遠慮なく助けを求めて頂きたいと思います。国内外のサンガが皆さまを念じ、支えてまいります。

立正佼成会

少なからずとも被害の出ている教会もあります。本部から全国の教会へのお願として、「被災地の状況やニーズは刻一刻と変化していきます。また現地では、中部教区内で連携を取りながら支援を進めています。単独での判断による支援はお控えくださいますようお願いいたします」とあります。

現在、私たちが出来ることとして、一食平和基金への協力や喜捨箱へのお布施をさせて頂きましょう。

YouTube 配信について

本部や京都教会から配信される YouTube 動画をご覧頂く方法やデータ通信料について掲載します。まずはお一人で悩まずに、ご家族にお聞き下さい。ご法の継承のきっかけになるかもしれません。

◆スマホの画面をテレビに映したい！有線接続と無線接続の違いを解説◆

ここでは、スマートフォンの画面をテレビに映す方法をご紹介します。

大きく分けて2つの方法があります。ひとつは、ケーブルを使った有線接続で、もうひとつは Wi-Fi を利用した無線接続です。いずれの方法もメリットとデメリットがありますので、自身の環境に合わせて選ぶといいでしょう。

	有線接続	無線接続
メリット	<p>◎接続の安定性が高い 接続が安定します。スマートフォンとテレビをケーブルで直接つなぐわけですから、電波の具合で画像が乱れるようなことはありません。</p> <p>◎コストが安い 必要になるのは基本的にケーブルのみですので、コストが安く済みます。Wi-Fi ルーターなどのネットワーク環境を準備する必要もありません。</p> <p>◎接続が簡単 接続が簡単です。無線接続ほど複雑な設定はいりませんので、誰でも簡単に接続できるでしょう。</p>	<p>◎ケーブルが必要ない ケーブルが必要ないので配線に悩むことはありません。また、毎回ケーブルを接続する手間がかからないこともメリットです。</p>
デメリット	<p>◎専用のケーブルが必要 接続に使用するのはケーブルのみですが、機種によって使うケーブルは異なりますので、ケーブルを正しく選ぶ必要があります。テレビに接続したいスマートフォンに対応しているケーブルを選びましょう。</p> <p>◎ケーブルが邪魔または接続が毎回必要 有線接続の場合、テレビとスマートフォンのあいだにケーブルがあるので、少し邪魔に感じることもあるかもしれません。また、テレビにスマートフォンの画面を映したいと思うたびに、ケーブルを接続する必要があります。</p>	<p>◎接続が不安定になる場合もある 電波の状況によって通信障害が起きる可能性があります。通信障害は頻繁に起きるものではありませんが、動画を見ているときに映像が途切れてしまうことがあるかもしれません。</p> <p>◎コストがかかる ケーブルの代わりに無線接続用の機器を購入する必要があります。例えば、「Apple TV」「Chromecast」「Fire TV」「Miracast レシーバ」などです。これらの端末は、数千円から1万円前後で購入できます。これらの機器の中には、自宅に Wi-Fi ルーターが必要な製品もありますので、よく確認しましょう。</p> <p>◎接続が複雑 無線接続をする場合は、設定やアプリのダウンロードなど、有線接続に比べると準備がやや複雑です。ただし、複雑なのは最初だけで、一度設定さえしてしまえば、2回目以降は簡単に接続できます。</p>

寒中読誦修行 パソコンに URL を入力するか、QR コードをスマートフォンで読んで下さい

日程	読誦内容	導師	URL	QR
1月20日 (土) 初日	無量義経徳行品第一～ 十功德品第三	齊藤教務部長	https://youtube.com/live/pX1T-ISEd9w	
1月21日 (日) 2日目	妙法蓮華経序品第一	齊藤教務部長	https://youtube.com/live/wMeROXwQ0do	
1月22日 (月) 3日目	方便品第二	齊藤教務部長	https://youtube.com/live/dnaVy1ysPWw	
1月23日 (火) 4日目	譬喩品第三	廣瀬教会長 (新宿教会)	https://youtube.com/live/MUYosWZ3IEw	
1月24日 (水) 5日目	信解品第四～授記品第六	廣瀬教会長 (新宿教会)	https://youtube.com/live/BTH7kgevi00	
1月25日 (木) 6日目	化城諭品第七	廣瀬教会長 (新宿教会)	https://youtube.com/live/OTzbJVkU-J4	
1月26日 (金) 7日目	五百弟子受記品第八～ 法師品第十	瀧川教会長 (荒川教会)	https://youtube.com/live/66-_jJep7bY	
1月27日 (土) 8日目	見宝塔品第十一～ 勸持品第十三	瀧川教会長 (荒川教会)	https://youtube.com/live/zrrIMYo5UMc	
1月28日 (日) 9日目	安樂行品第十四～ 從地涌出品第十五	瀧川教会長 (荒川教会)	https://youtube.com/live/bmFY0wdQmhQ	
1月29日 (月) 10日目	如來寿量品第十六～ 分別功德品第十七	栗原教会長 (東村山教会)	https://youtube.com/live/5dSH6QdS-0o	
1月30日 (火) 11日目	隨喜功德品第十八～ 常不輕菩薩品第二十	栗原教会長 (東村山教会)	https://youtube.com/live/k9MtL_w7JOA	
1月31日 (水) 12日目	如來神力品第二十一～ 藥王菩薩本事品第二十三	栗原教会長 (東村山教会)	https://youtube.com/live/1ehp1T0s56g	
2月1日 (木) 13日目	妙音菩薩品第二十四～ 觀世音菩薩普門品第二十五	川本 東京教区長	https://youtube.com/live/EVSzIPC1Bfc	
2月2日 (金) 14日目	陀羅尼品第二十六～ 普賢菩薩勸發品第二十八	川本 東京教区長	https://youtube.com/live/DwqkkwABYrM	
2月3日 (土) 最終日	仏説觀普賢菩薩行法経	川本 東京教区長	https://youtube.com/live/WIkokad_B7k	